

コスモス 7月号

第67巻 第7号

◆宮柽ニカレンダ―(4) 七月の歌

月面に人が降り立つ大き代に短き日本の歌を
いとしむ
歌集『獨石馬』

昭和四十四年七月二十日、アメリカの宇宙船アポロ11号が月面に着陸し、二人の乗員が人類として初めて月面を歩いた。作者は糖尿病の治療のため新宿の病院に入院していたが、院内のテレビでそのニュースを知った。画面には地球が映り、作者はその美しい映像を「苦悩して種族と国と階級が住むなる地球輝き写る」と万感こめて詠んだ。

掲出歌は、人類が宇宙に進出する大きな時代の到来に感動しつつ、日本の小さな短歌に寄せる自分の愛着を控え目にうたっている。
(高野公彦)